

## 月刊 ととろ


 独立行政法人国立病院機構  
 いわき病院

第220号

令和4年12月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

## 信条

- ◆ 患者さま本位の医療を行います
- ◆ 患者さま及び家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します



今年もコロナウィルス感染症の第8波が流行している状況のため、感染対策として2つの病棟分けて聖なる楽しいクリスマス会を行いました。

12月7日(水)に1病棟のクリスマス会を行いました。オープニングセレモニーでキャンドルサービスを行い賛美歌が流れている中、病棟の明かりを消して聖なる夜を演出しました。その後、キャンドル(ツリーキャンドル)に次々と灯をともしました。灯をともすと患者さんや看護師スタッフ、介助スタッフから歓声の音が聞こえてきました。続いてクリスマスの由来をお話した後、クリスマスソング楽器演奏を行いました。「あわてんぼうのサンタクロース」「クリスマスイブ」の2曲を演奏しました。楽器は鈴・マラカス・木琴・タンバリンハンドベル・ツリーチャイムを患者さんと職員と一緒に持ってリズムを取りながら演奏しました。患者さんもスタッフの皆さんも定番の曲であった為、前奏を聴くとニコッと笑顔になる姿が見られました。最後にサンタクロースとトナカイが登場しご家族の愛がこもったプレゼントを届けてくれました。

保育士：草野 与志恵・伊藤 加奈子

12月8日(木)に2病棟のクリスマス会を行いました。2病棟は、ハンドベル演奏とジンジャーマンクッキーを作りました。ハンドベル演奏は楽器にあまり馴染みのない看護師も一緒に行いました。練習もほとんど出来なかったのですが、とても上手に演奏ができ、患者さんは演奏に合わせて歌詞を口ずさんだりする姿が見られました。またサンタクロースからもプレゼントをもらうことが出来、楽しい時間を過ごすことが出来ました！



## クリスマス聖歌隊がクリスマスの雰囲気をお届けしてくれました

12月21日(水) 毎年恒例になりました「いわき病院聖歌隊」が各病棟を順番に練り歩きました。曲目は、「ウィッシュユーアメリークリスマス」のハンドベル演奏。「サンタが町にやってきた」松田聖子の「瑠璃色の地球」を歌と楽器で演奏し「赤鼻のトナカイ」ではメンバー紹介をしました。最後に今年入職した新人を中心に「世界が一つになるまで」の手話ダンスを行いました。今年は「ウクライナとロシアの戦争が早く終わり、世界が平和で穏やかな気持ちで毎日が過ごせますように」というメッセージを込めて選曲しました。

患者さんは、聖歌隊がやってくると大きな歓声をあげて歌に合わせて職員と一緒に手拍子で盛り上げてくれました。一般病棟に入院中の患者さんの中には、歌と演奏に涙ぐむ方もいらっしゃいました。今年はバイオリンが得意な看護師さんが加わり演奏に花を添えてくれました。短い時間でしたが、患者さんと一緒にクリスマス気分を味わう事が出来て、楽しく思い出に残るひと時でした。きっとまた来年も、着ぐるみを着て登場します。

主任保育士：小野寺 亜紀





## 令和4年度 院内QCサークル活動発表会 『リハビリテーション科3連覇達成!!!』

令和4年12月9日、院内QCサークル活動発表会が行われました。当院におけるQCサークル活動も10年以上が経過し、今年度は9部門8サークルの発表、34名の参加がありました。

どのサークルもQCストーリーを意識しながら、他部門と協力するなど積極的に活動してきた結果が発表から感じられました。また参加者からの質問や感想が多数あり、活発な意見交換も行われ、QC活動への関心の高さが伺える充実した発表会となりました。

審査の結果は以下の通りで、リハビリテーション科が3連覇を達成しました。

最優秀賞 リハビリテーション科

「算定王に俺はなる

リハビリテーション総合計評価料の算定率向上への軌跡」

優秀賞 事務部・地域連携室

(BTS～バッチリ! 繋がらない電話を・効率よく伝達・

し隊)「不在着信時による折り返しの電話を、効率よく、かつ正確につなぎたい」

優秀賞 第3病棟

(誤薬なくし隊)

「持参薬に関連した内服薬の誤投与をなくしたい」

年々、活動、発表内容は充実してきていると副院長からの総評にもありました。次年度も、より多くのサークルに参加していただき、患者さんの安全やサービス向上を目指していきたいと思います。サークルの皆様、1年間の活動お疲れ様でした。

副看護部長：大井 敦子



## 秋の叙勲について

この度、元看護部長である笹 小夜子さんが瑞宝単光章を授章されました。

大変残念ながらコロナ禍において、授章式は中止となってしまう、11月25日に私が代理で厚生労働省から叙勲に係る品物一式をお預かりし、笹さんにお届けさせていただきました。

笹さんは、昭和57年に看護師免許を取得した後、民間病院を経て、昭和63年7月25日に国立弘前病院助産婦として採用になり、令和3年3月31日に当院を定年退職されました。

私自身は、平成29年3月末まで北海道の八雲病院でお世話になりましたが、その後いわき病院で看護部長に昇任され、定年までご活躍されたことを伺っておりました。

この度、久しぶりにお元気そうなお顔を拝見でき、まだまだ生涯現役で看護の世界でご活躍されるんだろうなと感じました。

末筆になりますが、笹 小夜子元看護部長さん、この度の授章、本当におめでとうございました。

庶務班長：田中 智也





## NHO PRESS ~国立病院機構通信~

いわき病院は、全国 140病院からなる国立病院機構 (NHO: National Hospital Organization) のひとつです。

NHO では各病院の活動を紹介する『NHO PRESS』を発行しています。

外来待合室などに設置しています。ぜひご覧になってください。

国立病院機構ホームページでは最新号と過去の『NHO PRESS』を掲載しています。



QRコード

NHO PRESS

検索

## いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、脳神経内科、外科、脳神経外科、小児科 (小児神経疾患)、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30~11:30 (ただし、急患につきましては電話にてご相談下さい。)
- 診療時間 8:30~17:15

### 外来担当医師診療日程表 【令和4年4月~】

区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
午前	内科 診察① 鈴木 栄 診察② 市原 利勝	内科 診察② 尾澤 康彰	内科 診察① 鈴木 栄 診察② 齋 敬明		内科 診察③	
	脳神経内科 診察③	脳神経内科 診察③ 會田 隆志	脳神経内科 診察③	脳神経内科 診察① 會田 隆志	脳神経内科 診察①	
	外科 尾田 宣仁	外科 診察① 吉沢 和朗	外科 尾田 宣仁	外科 診察③ 関 晴朗	外科 吉沢 和朗	
			外科 診察②	外科 田崎 博		
専門外来 (完全予約制)						
午後	区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
専門外来 (診察室①)	(小児神経外来)	柳沢 俊郎	(神経難病)	関 晴朗		(小児神経外来)
						柳沢 俊郎



### お知らせ

#### ◆患者相談窓口

患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

#### ◆当院受診について

他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院地域医療連携室を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 **独立行政法人国立病院機構 いわき病院**  
 National Hospital Organization Iwaki National Hospital  
 責任者 吉沢 和朗  
 所在地 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合 88 番地 1  
 TEL 0246-88-7101 FAX 0246-88-7075  
 ホームページ <https://iwaki.hosp.go.jp/>